

### 作品募集要項(出品申込書)の入手方法について

- 神奈川県民ホールギャラリーのホームページからダウンロードできます。コピーも可。
- ご希望の方には送料無料で送付します。県民ホール 045-662-5901(代)までお問い合わせください。
- 神奈川県庁、図書館、市役所、区役所、美術館、美術系大学等でも配布しております。

### 部門について

- 平面 → 絵画(油彩、日本画、版画、コラージュ、CG グラフィックなど平面の作品)
- 立体 → 彫刻、インスタレーションなど(技術だけではなく、コンセプトや視覚のおもしろさを見せたいもの)
- 工芸 → 陶芸、漆、染織、ガラス、金工、木竹工、七宝など(手業を見せたいもの)
- 書 → 条幅、篆刻(木・石などの印材に文字を彫ったもの)
- 写真 → 写真(単品・組作品)
- 出品部門について、工芸か立体か?など判断が難しい場合には、事前にお問い合わせいただくか、もしくは当日受付にてご相談ください。

### 組み作品について(いくつかの作品(パーツ)を組んで1つの作品とするもの)

- 並べ方
  - 指定できます。紙などに詳しく記入してください。(縦横、隙間の幅など)
  - 写真部門は、搬入時に審査用写真の裏面にテープ留めしてください。

※ 平面立体・工芸については、パーツの数に制限はありません。1組で規定内に収めてください。

(例) 平面の場合: 2枚組でも3枚組でも、規定のサイズに従い、作品と作品の隙間も含め、全てを合算したサイズが238×238cm以内です。サイズがオーバーしたものは1点ずつ単品扱いになります。

### 額装について

ガラスを使用した額装は受けられません。アクリルその他ならOKです。

- 平面
  - 展示できる状態であれば必ずしも額装する必要はありません。
  - 裏に木枠などがありヒートンが打てればOKです。
- 書
  - アルミの仮枠でもOKです。
  - 条幅や扇状の変形作品でも台紙などに張って枠装すれば出品できます。

### 出品作品サイズについて

- 平面  
最小サイズの制限はございません。
- 立体・工芸  
大きな作品の搬入、壁面利用や天井から吊って展示をする場合の耐荷重など、対応できない場合もありますので、不安な点があれば事前にご相談してください。  
また、設置したい場所がある場合、作品設置場所の予約はできませんので搬入日初日の早い時間に搬入することをおすすめします。
- 写真  
審査用の作品について、自分でプリントする場合はA4・B4サイズでもOKです。  
展示用写真についてはトリミングは禁止です。指定のサイズ相当に引き延ばして、お好みの額装またはパネルにしてください。

### 未発表作品の定義

- 公募展、コンクール、コンテストで入賞・入選をしていない作品。個人のHPで発表している作品や、個展・グループ展に出品した作品は応募可能です。

## グループでの応募

- 共作のご応募も可能です。申込者名や結果通知の宛名は代表者を記入してください。グループ名などがある場合には、申込書の作家名欄にご記入ください。図録等の掲載に使用させていただきます。

## 入選について

- 搬出日前日までに、審査結果通知ハガキを送付します。
- 入選通知が発送され、選外搬出が済んだ時点で入選者・入選数は確定されます。それ以降の入選辞退はできません。入選作品は展覧会で展示され、図録には氏名と作品名が掲載されます。
- 平面立体、工芸、書部門で入賞・入選された方の作品は9月の展覧会開催まで県民ホールで保管します。ただし、保管が難しいと思われる作品については、一旦お引取りいただく場合がございます。

## 入賞について

- 各賞に入賞された場合でも、審査結果通知ハガキには「入選」と記載されます。入賞者には、別途お電話でご連絡いたします。
- 例年、入賞すると神奈川県民ホールギャラリーの展覧会のほかに、厚木巡回展にも展示されます。
- 図録に掲載するため、略歴をご提出いただきます。
- 入賞者の方は、ギャラリートークと表彰式にご出席をお願いいたします。

## 搬入について

- 全ての部門で、神奈川県民ホールギャラリーに直接応募作品をお持ちください。(業者・代理人でも可。ただし搬入とともに受付があります。)
- 立体と工芸部門については、ご本人が審査される状態に設置、展示をしてください。(搬入日2日間かけてもOKです)  
立体 → リフター、台車など県民ホールにあるものは貸出いたします。  
耐荷重は、第5展示室(B1F)700~800kg/m<sup>2</sup>、第5展示室(1F)360kg/m<sup>2</sup>  
工芸 → 染織の作品など、壁面に吊る作品は各自で棒を用意してください。ワイヤーはこちらで準備があります。吊る作業は業者が行います。
- 電気を使う作品は、搬入時にコンセント近くに置くことができます。但し受付番号順での搬入になりますので、場所のご希望がある方は初日の早い時間に受付を済まされることをお勧めします。

## 搬出について

- 出品条件に“必ず指定日時に搬出ができること”があります。本人でなくても業者・代理人でも結構です。
- 写真部門の審査用に提出した写真の返却を希望される方は、審査結果が入選・選外にかかわらず、選外作品の搬出日に取りに来てください。搬出日に搬出されなかったものは処分いたします。

## ギャラリートークについて

- 講師は今回の審査員が担当します。
- 予約の必要はありません。各部門の開催日に、展示室に直接お越しください。
- 入賞作品を中心に解説します。時間は約1時間程度です。

## 著作権について

- 全て、著作者本人に帰属します。
- 書部門で、著作権に関わる引用がある場合は、必ず釈文票に出典元を明らかにしてください。